

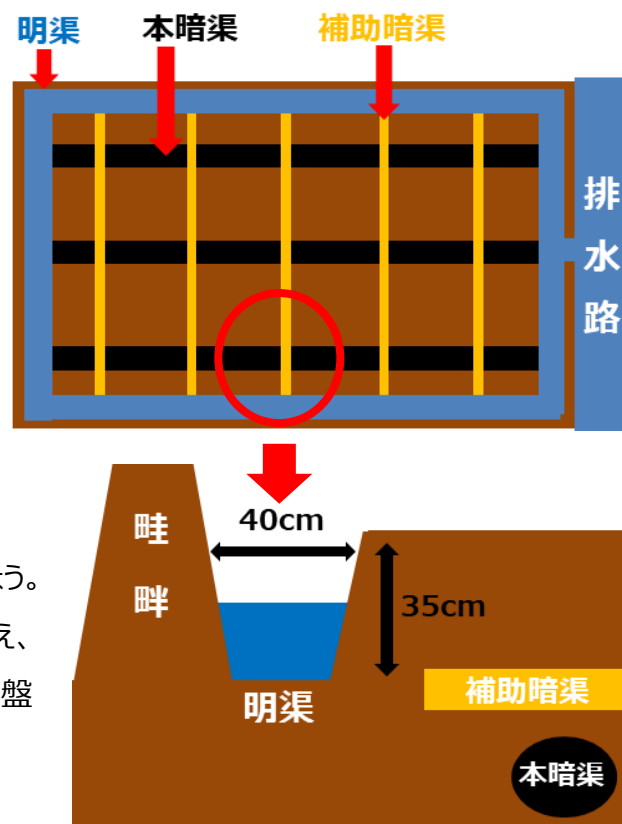
そばだより

第1号
令和3年6月28日発行
西村山農業技術普及課
TEL: 0237-86-8215

【圃場の準備】

1. 排水対策

- ・播種から生育初期にかけて湿害を受けると、生育が著しく抑制され収量が低下します。
→ **湿害回避のため排水対策を徹底しましょう!!**
- ・降雨は地表からの排水が基本です。
→ 播種前に畦畔に沿って明渠を掘りましょう。
- ・明渠の深さは **30~40 cm** として、確実に落水口につなぎましょう。
- ・排水が極度に悪い圃場は **圃場内にも明渠** を掘りましょう。
- ・水田転換畑は湿害が発生しやすいため、本暗渠に加え、補助暗渠（弾丸暗渠、粉殻暗渠、サブソイラによる耕盤破碎等）を積極的に組み合わせましょう!!



2. 雑草対策

- ・雑草が繁茂した圃場は、機械が損傷したり、作業効率が悪くなるため、事前に草刈りを行いましょう。
- ・**前年ネキリムシが発生した圃場は、宿主である雑草を減らして被害を抑制するため、必ず事前に草刈りを行いましょう!!**

3. 土づくりと施肥

- ・出芽安定のため、碎土率 60%以上(直径 1cm 以下の土塊の割合)となるように耕耘しましょう。
- ・そばは石灰と苦土の吸収量が多いため、**苦土石灰 40kg/10a** 施用を基本としましょう。
- ・pH が 6.0 を下回る圃場は、酸度矯正も兼ね苦土石灰を 10a あたり 100kg 施用しましょう。
- ・基肥の目安は、成分量で **窒素 2~4kg/10a、リン酸 6~9kg/10a、カリ 6~9kg/10a** です。
- ・基肥を全量発酵鶏ふんとする場合は、**発酵鶏ふん 75~100kg/10a** を基本としましょう。

収量安定化のため、最低でも発酵鶏ふんを 45kg/10a 以上施用しましょう!!

【播種】

- ・播種深度は **約 2 cm**、播種量の目安は、**条播 4~6kg/10a、散播 6~8 kg** です。
- ・播種適期は、**7月26日~8月5日**です。**晩限は8月10日!!**
- ・気温の低い中山間地域では、**7月20日~7月31日**に播種を行いましょう。

※週間天気予報をみて直後に大雨が予報されている場合は、播種作業を避けましょう。